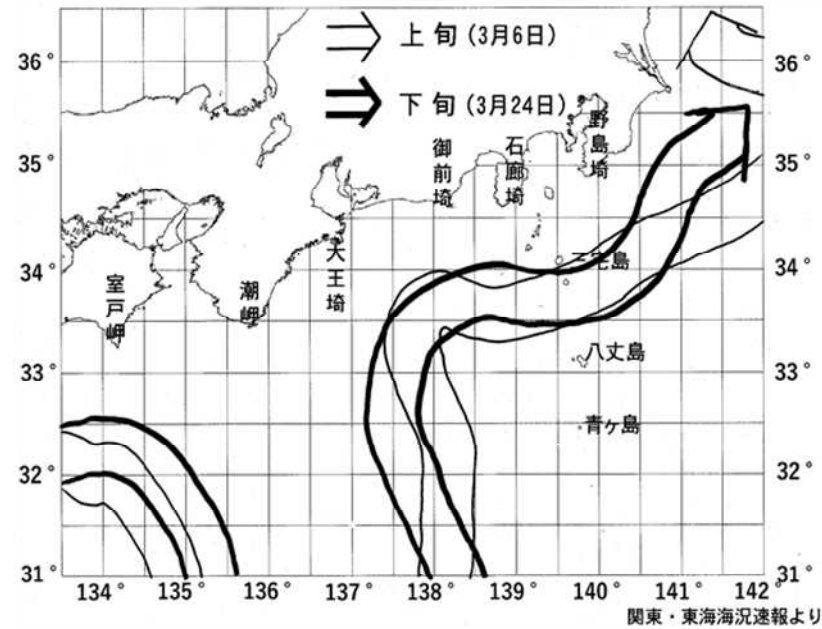


漁海況月報

令和5年3月1日

No. 3 ~3月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



3月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.2	15.6	15.5	16.0	15.7	15.5
	1.4	1.0	1.2	1.4	1.3	1.4
中旬	15.5	16.2	16.2	16.6	16.2	15.7
	1.5	1.4	1.7	1.8	1.4	1.1
下旬	16.2	17.2	16.9	17.3	16.5	16.4
	1.7	2.1	2.0	2.1	1.3	1.6
月	15.7	16.4	16.2	16.7	16.2	15.9
	1.5	1.5	1.6	1.8	1.4	1.4

※平年値：過去30年(平成3年~令和2年)平均値

【黒潮流路】

3月を通じてA型で、大王崎沖で大きく離岸した後、上旬は遠州灘沖に、中旬~下旬は駿河湾沖まで北上する流路となった。

上旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖29.5°N付近から遠州灘沖33.5°Nまで北上した後東進し、三宅島~八丈島付近を通過して東北東に流去した。暖水波及が遠州灘沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて見られた。

中旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖30.0°N付近から駿河湾沖34.0°Nまで北上した後東進し、三宅島~八丈島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が御前崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られたほか、一時的に駿河湾内に向けて見られた。

下旬は大王崎沖で大きく離岸し、大王崎沖29.5°N付近から駿河湾沖34.0°NまでS字状に北上した後東進し、三宅島~八丈島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が御前崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて見られたほか、一時的に駿河湾内に向けて見られた。

【県下沿岸域】

上旬の水温は全ての地点で「やや高め」であった。中旬は稲取、沼津、焼津で「やや高め」、伊東、下田、雲見で「高め」であった。下旬は沼津で「やや高め」、それ以外の地点で「高め」であった。

【竿釣カツオ】

3月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは23.4トンで前年同月(3.2トン)の731%であった。平均単価は597円/kgで前年同月(875円/kg)を下回った。

漁場は33~34°N、138~139°Eの伊豆諸島北部海域などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は小(尾叉長48cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R5年3月上旬	0	0	-	-
中旬	4.0	2	2.0	675
下旬	19.4	6	3.2	581
R5年3月計	23.4	8	2.9	597
R4年3月計	3.2	5	0.6	875
R3年3月計	32.5	12	2.7	271

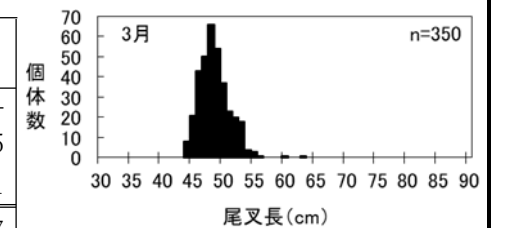


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は296.5トンで、前年(443.0トン)の67%、平年(378.8トン)の78%であった。また、1か統あたりの水揚量は42.4トン(前年:63.3トン、平年:54.1トン)であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(70.9トン、マイワシ、ブリ、スルメイカ)、次いで伊豆山漁場(58.8トン、ブリ、マイワシ、さば類)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、ブリは139.8トンで、前年比2.0倍、平年比2.8倍で、銘柄ぶりとわらさが主体であった。マイワシは82.1トンで、前年比30%、平年比1.2倍であった。スルメイカは29.2トンで、前年比72%、平年比1.2倍であった。さば類は17.0トンで、前年比77%、平年比51%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは10.0トンで、前年比67%、平年比95%であった。ゴマサバは7.0トンで、前年比97%、平年比26%であった。マルソウダは5.7トンで、前年比321.1倍、平年比63.5倍で、3月の水揚量として1982年以降最も多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、ブリでは川奈漁場

が35% (48.3 トン)、伊豆山漁場が25% (34.3 トン) であった。マイワシでは古網漁場が45% (37.0 トン)、北川漁場が28% (22.8 トン)、谷津漁場が15% (12.4 トン)、スルメイカでは富戸漁場が35% (10.1 トン)、古網漁場が24% (6.9 トン)、さば類では伊豆山漁場が41% (6.9 トン)、谷津漁場が18% (3.2 トン)、マルソウダでは北川漁場が38% (2.2 トン)、富戸漁場が26% (1.5 トン)、古網漁場が21% (1.2 トン) であった。

* 平年：昭和57年～令和4年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
ブリ	139.8	1.97	2.76	川奈、伊豆山
マイワシ	82.1	0.30	1.17	古網、北川、谷津
スルメイカ	29.2	0.72	1.20	富戸、古網
さば類	17.0	0.77	0.51	伊豆山、谷津
マルソウダ	5.7	321.13	63.50	北川、富戸、古網

[サバたもすくい]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は上旬が千波、中旬以降が三本・三宅に形成された。水揚量はマサバ158トン(前年同月比1.2倍)、ゴマサバ55トン(前年同月比1.1倍)であり、1隻あたり水揚量はマサバ9.3トン(前年同月比1.03倍)、ゴマサバ3.3トン(前年同月比95%)であった。

平均単価は、マサバは183円/kgで前月(290円/kg)を大きく下回り、前年同月(86円/kg)を大きく上回った。ゴマサバは185円で前月(205円/kg)を下回り、前年同月(75円/kg)を大きく上回った。

漁獲物の体長組成は、マサバは35cm、ゴマサバは32cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R5年3月上旬	1	17	2	3	0.4	5.8	244	230	千波
中旬	130	24	5	9	14.4	2.7	173	161	三本・三宅
下旬	27	14	3	5	5.4	2.7	231	170	三本・三宅
R5年3月計	158	55	10	17	9.3	3.3	183	185	千波・三本・三宅
R4年3月計	127	48	9	14	9.0	3.4	86	75	利島、金洲、銭洲
R3年3月計	778	571	16	51	15.3	11.2	79	82	利島、銭洲

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当たりの水揚量は、駿河湾(用宗、吉田)が151kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が207kgであった。平均水揚量は186kgで前年同月(284kg)の65.5%、平年同月(過去5か年平均:532kg)の35.0%であった。また、総水揚量は114.9トンで前年同月(153.0トン)の75.0%、平年同期(351.0トン)の32.7%で前年同月、平年同月を大きく下回った。平均単価は1,441円/kgで前年同月(578円/kg)の2.5倍、平年同月(641円/kg)の2.2倍で前年同月、平年同月を大きく上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	4.4	4	30	145	1,420
舞 阪	29.2	5	180	162	1,389
福 田	27.3	5	127	215	1,544
御前崎	19.2	5	49	391	1,355
吉 田	26.4	5	128	206	1,378
用 宗	8.4	5	102	82	1,696
R5年3月計	114.9	29	616	186	1,441
R4年3月計	153.0	27	538	284	578
R3年3月計	377.8	33	739	511	584

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年：過去5か年(平成30～令和4年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では764.6トン(前年同月比41.8%、平年同月比49.7%)、小川港では670.1トン(前年同月比53.3%、平年同月比1.0倍)、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港いずれも水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは82.1トン、カタクチイワシは水揚げがなかった。

*平年：過去5か年(平成30～令和4年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

3月10日	～	3月10日	ドックから回航	(1日間)
3月14日	～	3月14日	地先定線観測調査	(1日間)
3月15日	～	3月16日	地先定線観測調査	(2日間)
3月16日	～	3月17日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
3月22日	～	3月22日	さば類音響調査及び標識放流調査	(1日間)
3月30日	～	3月30日	主機関燃料供給管修理に伴う海上試運転	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海況速報を見ることができます。

